

<回答にあたって>

- 調査結果は、個人情報として学会の規約に則り個人名を特定できない形で保管・管理します。
- 集計結果の公表にあたっては、上記規約に則りデータの取り扱いに留意し、個人が特定できない形で公表します。
- 調査の回答内容が、更新審査の結果に影響を及ぼすことはありません。

<調査票一式の内容>

下記の調査票一式（①②③）を確認してください。万一不備がある場合は、学会事務局までご連絡ください。

- ① 調査趣旨説明、調査票記入時の注意（本票）
- ② 調査票 「調査票Ⅰ 回答者ご自身について」、「調査票Ⅱ－1 就業状況：臨床について」、「調査票Ⅱ－2 就業状況：音楽療法に関連する教育・啓発活動について」
- ③ コード番号表・調査票Ⅱ－1、Ⅱ－2回答記入例

<調査票の返送について>

- 調査票Ⅰ・Ⅱ－1、Ⅱ－2は、更新申請書類と同じ封筒（緑色の封筒）に入れ返送してください。
- 調査票に直接記入していただく場合、調査票Ⅱは、必要な枚数をコピーしてください。
- 学会ホームページの「書式ダウンロード」→「認定音楽療法士 就業状況調査 関連ファイル」から用紙をダウンロードして使用することもできます。記入後にご自身で印刷して返送してください。

<調査票Ⅱ 就業状況について 記入時の注意>

【Ⅱ－1 臨床について】 本年4月1日～9月30日の臨床経験を記入して下さい。

- ご自身の臨床現場について、回答記入例を参考に、コード番号、アルファベット、数字を選んで記入し、また必要に応じて記述してください。
- 臨床経験は、報酬の有償・無償に関わらず記入して下さい。
- 金額の記入は任意です。報酬には交通費も含まれます。無償の場合は、「0円」と記入して下さい。
- セッション時間には、準備や現場での振り返り（レビュー）および片付け等は含まれません。
- 同一の施設・機関で複数セッションを実施している場合は、セッション毎に記入して下さい（記入例③の1、③の2参照）。

【Ⅱ－2 音楽療法に関連する教育・啓発活動について】

- 音楽療法に関連する教育・啓発活動の経験（本年4月1日～9月30日の経験）について、回答記入例を参考に記入して下さい。
- 大学・短大・専門学校での教育経験、スーパーバイザー経験、各種講座・研究会等の講師経験が含まれます。在職証明書やシラバス、講座開催の資料等を提出する必要はありません。

記入例

<調査票Ⅱ－２ 音楽療法に関連する教育・啓発活動について>

○教育（演習・実習も含む）

教育機関	内容	対象	回数	雇用形態	備考
大学・ <u>短大</u> ・ 専門学校	<u>講義</u> ・演習・ 実習	短大生	30回	<u>常勤</u> 非常勤	講義2科目の合計
<u>大学</u> ・短大・ 専門学校	講義・演習・ <u>実習</u>	音楽療法 専攻学生	30回	常勤 <u>非常勤</u>	

※複数機関に携わっている場合、機関毎に記入して下さい。

※複数科目を担当している場合、回数は合計数を記入して下さい。

○スーパーバイザー

対象	形態	人数	回数	備考
必須講習会 受講生	<u>個人SV</u> ・集団SV	2人	4回	バイザー1人に2回ずつ実施
認定音楽療 法士	個人SV・ <u>集団SV</u>	3人	1回	3人の音楽療法士のグループが対象

※スーパービジョンの実施形態は、バイザーが個人の場合＝個人SV、バイザーがグループの場合＝集団SVとして記入して下さい。

○講座・研究会等の講師

内容	対象	回数	報酬	備考
自治体主催の市民講座	一般市民	1回	<u>有償</u> ・無償	
			有償・無償	

○その他（上記に該当しない教育・啓発活動）

内容	対象	回数	報酬	備考
			有償・無償	
			有償・無償	
			有償・無償	